



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月13日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL https://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部門長 (氏名) 中岡 圭一郎 TEL 03-6380-7490
 半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|--------------|-----|-------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年12月期中間期 | 36 | △51.5 | △623 | — | △623 | — | △651 | — |
| 2024年12月期中間期 | 76 | 13.9 | △464 | — | △463 | — | △474 | — |

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|--------------|----------------|---------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年12月期中間期 | △18.78 | — |
| 2024年12月期中間期 | △14.74 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年12月期中間期 | 1,912 | 1,512 | 78.5 |
| 2024年12月期 | 2,433 | 2,163 | 88.5 |

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 1,502百万円 2024年12月期 2,152百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2025年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年12月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|-----|--------|---|--------|---|--------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 195 | 1.0 | △1,010 | — | △1,010 | — | △1,060 | — | △30.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

| | | | |
|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 2025年12月期中間期 | 34,666,419株 | 2024年12月期 | 34,666,419株 |
| 2025年12月期中間期 | 156株 | 2024年12月期 | 156株 |
| 2025年12月期中間期 | 34,666,263株 | 2024年12月期中間期 | 32,194,747株 |

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 中間貸借対照表 | 4 |
| (2) 中間損益計算書 | 5 |
| (3) 中間キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 中間財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等の注記) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、内需の底堅さなどから緩やかな回復基調が持続しているものの、米国の政策不確実性など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社はこのような環境の下、コスト削減による財務体質の改善と安定的な財務基盤の確立を図りつつ、再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

この結果、当中間会計期間における売上高は36,998千円（前年同期比39,305千円の減少）、営業損失は623,270千円（前年同期比159,100千円の増加）、経常損失は623,969千円（前年同期比160,613千円の増加）、中間純損失は651,162千円（前年同期比176,702千円の増加）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業（細胞培養器材、製造受託など）

細胞培養器材事業では、国内市場への取り組みとして器材製品の拡販に向けた既存代理店との更なる協業強化を進め、プロモーション活動として第24回日本再生医療学会総会（2025年3月）、日本薬学会第145年会（2025年3月）の付設展示会に当社ブースを出展して情報収集及び器材製品の積極的な販売促進活動を行いました。海外市場への取り組みとしては、今年後半に予定されているUpCell®フラスコの海外販売開始に向けた製造に尽力いたしました。一方で、米国における研究環境の急激な変化、並びに欧州や中東などにおいて継続する地政学的な混乱などの影響により当期においては海外市場での売上が低迷したことから、海外でニーズが大きいUpCell®フラスコ販売の成功に向けた活動に注力いたします。

再生医療受託事業では、地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター（以下「多摩北部医療センター」）が、再生医療の実施に必要な提供計画を厚生労働省に提出する際に、関連書類の作成支援など自由診療の開始に必要な手続きの支援を行いました。今年後半以降は、多摩北部医療センターから細胞シートの製造受託に関する売上が計上できる見込みです。また、再生医療CDMO（開発・製造受託機関）としての活動を積極的にアピールすることで、新規の受託案件の獲得にも注力して参ります。

以上のような活動の結果、売上高は35,123千円（前年同期比39,963千円の減少）、営業損失は59,402千円（前年同期比40,686千円の増加）となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、同種軟骨細胞シートの再生医療等製品の自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

同種軟骨細胞シートは、2023年9月20日に、同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の第3相試験の治験届を独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に提出し、治験審査委員会（IRB）を経て、各治験実施施設との契約を締結し、各治験実施施設において手術を行える体制を整えてきました。その後、2024年9月25日開示「同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の治験開始時期に関するお知らせ」のとおり、東海大学と治験の進展に応じたマイルストンの支払金額等について交渉を行ってきました結果、2025年3月24日開示「同種軟骨細胞シート（CLS2901C）の治験開始に関するお知らせ」のとおり、東海大学と合意しましたことにより、治験開始の準備を進めております。

事業提携活動につきましては、事業化の加速、また将来の同種軟骨細胞シートの販売に向けて、引き続き複数の会社との事業提携及び共同開発契約の締結に向けた活動を積極的に行っております。今後も、新規の提携契約を獲得できるように継続して努めて参ります。

以上のような活動の結果、売上高は1,875千円（前年同期比657千円の増加）、営業損失は448,659千円（前年同期比116,551千円の増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べて534,351千円減少し、1,777,868千円となりました。これは、現金及び預金が478,136千円減少したことなどによります。

当中間会計期間末の固定資産は、前事業年度末に比べて14,256千円増加し、135,121千円となりました。これは、投資その他の資産が14,256千円増加したことによります。

この結果、当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて520,094千円減少し、1,912,989千円となりました。

（負債）

当中間会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べて146,259千円増加し、249,403千円となりました。これは、未払金が159,022千円増加したことなどによります。

当中間会計期間末の固定負債は、前事業年度末に比べて15,998千円減少し、150,737千円となりました。これは、長期借入金が16,044千円減少したことなどによります。

この結果、当中間会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて130,260千円増加し、400,141千円となりました。

（純資産）

当中間会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて650,355千円減少し、1,512,848千円となりました。これは、中間純損失を651,162千円計上したなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて478,136千円減少し1,656,163千円となりました。当中間会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間において営業活動に使用した資金は473,043千円（前年同期比67,995千円の支出増）となりました。これは、税引前中間純損失650,687千円を計上したことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間において投資活動に使用した資金は717千円（前年同期比5,474千円の支出減）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出448千円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間会計期間において財務活動の結果支出した資金は4,375千円（前年同期比426,602千円の獲得減）となりました。これは、長期借入金の返済による支出4,375千円によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年2月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2024年12月31日) | 当中間会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,134,299 | 1,656,163 |
| 売掛金 | 37,126 | 1,775 |
| 商品及び製品 | 12,476 | 17,843 |
| 仕掛品 | 9,448 | 4,895 |
| 原材料及び貯蔵品 | 24,065 | 24,919 |
| その他 | 94,802 | 72,270 |
| 流動資産合計 | 2,312,219 | 1,777,868 |
| 固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 120,865 | 135,121 |
| 固定資産合計 | 120,865 | 135,121 |
| 資産合計 | 2,433,084 | 1,912,989 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 6,183 | 210 |
| 未払金 | 43,687 | 202,709 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 10,834 | 22,503 |
| 賞与引当金 | 4,228 | 3,974 |
| その他 | 38,212 | 20,006 |
| 流動負債合計 | 103,144 | 249,403 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 132,916 | 116,872 |
| 資産除去債務 | 33,819 | 33,865 |
| 固定負債合計 | 166,735 | 150,737 |
| 負債合計 | 269,880 | 400,141 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,819,386 | 2,152,299 |
| 資本剰余金 | 1,798,967 | — |
| 利益剰余金 | △2,466,054 | △651,162 |
| 自己株式 | △227 | △227 |
| 株主資本合計 | 2,152,071 | 1,500,909 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 747 | 1,554 |
| 評価・換算差額等合計 | 747 | 1,554 |
| 新株予約権 | 10,384 | 10,384 |
| 純資産合計 | 2,163,204 | 1,512,848 |
| 負債純資産合計 | 2,433,084 | 1,912,989 |

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

| | 前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) | 当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) |
|--------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 売上高 | 76,303 | 36,998 |
| 売上原価 | 34,580 | 22,653 |
| 売上総利益 | 41,723 | 14,344 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 研究開発費 | 322,338 | 451,208 |
| その他 | 183,555 | 186,406 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 505,893 | 637,615 |
| 営業損失 (△) | △464,170 | △623,270 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 1,100 |
| 為替差益 | 2,936 | — |
| その他 | 439 | 18 |
| 営業外収益合計 | 3,386 | 1,119 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,036 | 978 |
| 為替差損 | — | 839 |
| 新株発行費 | 1,536 | — |
| 営業外費用合計 | 2,572 | 1,817 |
| 経常損失 (△) | △463,355 | △623,969 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 2,055 | — |
| 特別利益合計 | 2,055 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 12,014 | 26,717 |
| 特別損失合計 | 12,014 | 26,717 |
| 税引前中間純損失 (△) | △473,314 | △650,687 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,145 | 475 |
| 法人税等合計 | 1,145 | 475 |
| 中間純損失 (△) | △474,459 | △651,162 |

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) | 当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) |
|-----------------------|------------------------------------------|------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前中間純損失(△) | △473,314 | △650,687 |
| 減損損失 | 12,014 | 26,717 |
| 受取利息 | △10 | △1,100 |
| 支払利息 | 1,036 | 978 |
| 新株発行費 | 1,536 | — |
| 新株予約権戻入益 | △2,055 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 24,628 | 35,350 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △2,550 | △1,667 |
| 差入保証金の増減額(△は増加) | — | △15,000 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 28,506 | 24,082 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 3,511 | △5,972 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 8,409 | 133,022 |
| 前受金の増減額(△は減少) | — | △33 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 291 | △253 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △5,089 | △16,041 |
| 小計 | △403,086 | △470,605 |
| 利息の受取額 | 8 | 932 |
| 利息の支払額 | △1,023 | △1,115 |
| 法人税等の支払額 | △947 | △2,254 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △405,048 | △473,043 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △6,191 | △229 |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △488 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,191 | △717 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,750 | △4,375 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 425,977 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 422,227 | △4,375 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 10,987 | △478,136 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,163,292 | 2,134,299 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 2,174,279 | 1,656,163 |

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月25日開催の定時株主総会の決議により、2025年5月2日付で資本金667,087千円、資本準備金1,798,967千円をそれぞれ減少しその他資本剰余金に振替え、振替後のその他資本剰余金2,466,054千円の全額を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補に充当しました。

以上の結果、当中間会計期間末における資本金は2,152,299千円、資本剰余金は0円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 中間 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|-----------------|----------|--------------|-----------------------------|
| | 再生医療支援 事業 | 細胞シート 再生医療事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 75,086 | 1,217 | 76,303 | — | 76,303 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 75,086 | 1,217 | 76,303 | — | 76,303 |
| セグメント損失(△) | △18,715 | △332,108 | △350,824 | △113,346 | △464,170 |

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△113,346千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「再生医療支援事業」セグメントにおいて133千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において11,881千円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間会計期間においては、12,014千円であります。

II 当中間会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 中間 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|--------------|-----------------|----------|--------------|-----------------------------|
| | 再生医療支援 事業 | 細胞シート 再生医療事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 35,123 | 1,875 | 36,998 | — | 36,998 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 35,123 | 1,875 | 36,998 | — | 36,998 |
| セグメント損失(△) | △59,402 | △448,659 | △508,062 | △115,208 | △623,270 |

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△115,208千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント損失は、中間損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「再生医療支援事業」セグメントにおいて26,000千円、各報告セグメントに配分していない全社資産において717千円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間会計期間においては、26,717千円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前事業年度末の手元資金（現金及び預金）残高は2,134,299千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社は当中間会計期間末において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社は当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と事業提携の推進による収益機会の獲得

当社は、今後、同種軟骨細胞シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。